

1 ウマイヤ朝の時代 (アラブ帝国)

・第4代カリフのアリーが暗殺された後、ウマイヤ家の出身でありシリア総督であったムアーウィヤがカリフとなった。  
→以後、ウマイヤ家の子孫が代々カリフとなったので、これをウマイヤ朝という。



ムアーウィヤ  
第3代カリフのウスマーンのはとこにあたる。ウスマーンの死をめぐって、アリーと激しく対立した。

☆ ( ) (661~750年)  
都… ( ) ※現在は ( ) の首都  
◆ ( ) (在位 661~680年)

- ・ウマイヤ朝の成立に対して、アリーの支持者は「アリーとその子孫だけがムハンマドの正統な後継者である」と主張した。  
→彼らは ( ) と呼ばれる少数派を形成した。  
→それに対し、代々のカリフ全員を認める多数派を ( ) という。
- ・ウマイヤ朝は、北西インドから北アフリカまで、次々に領土を拡大した。  
→711年、イベリア半島に侵入し、 ( ) を滅ぼした。  
→732年、 ( ) で、フランク王国に敗れた。



ダマスカスのウマイヤ=モスク

元はキリスト教の教会で、ウマイヤ朝時代にモスクへ改装された。世界最古のモスクである。もう1回ダマスカスに行きたいなあ。



ジブラルタル海峡

ヨーロッパ(イベリア半島)とアフリカ大陸の間にある。ウマイヤ朝軍は、南からこの海峡を渡って、ヨーロッパへなだれ込んだ。



宮宰カール=マルテル

めちゃくちゃ有名な戦いである。カール=マルテルは、キリスト教世界の英雄となった。なおマルテルとはハンマー(鉄槌)を意味するあだ名。

<ウマイヤ朝への不満>

- ・領土が広がるにつれ、アラブ人以外でイスラーム教徒に改宗するものが現れた  
※このような人々を ( ) という。  
→彼らには人頭税の ( ) が課せられていたため、アラブ人とアラブ人以外では、同じムスリムでも不公平な状況となっていた。  
→アラブ人が特権を持っていたため、ウマイヤ朝をアラブ帝国という。



## 2 アッバース朝の時代 (イスラーム帝国)

- ・ウマイヤ朝への不満が高まるなか、預言者ムハンマドの叔父アル=アッバースの家系であった（ ）が、次第に勢力を拡大していった。  
→イラン北東部のホラーサーン地方を拠点に革命運動を行い、750年、ウマイヤ朝を倒して、アッバース朝を建国した (アッバース革命)。

☆ ( ) (750~1258年)

都… ( ) ※現在は ( ) の首都

- ・マワーリーへのジズヤを廃止し、アラブ人ムスリムへもハラージュを課した。  
→これによりムスリムが平等となったため、アッバース朝をイスラーム帝国という。
- ・ワズィールと呼ばれる宰相を中心に官僚制を整備した。
- ・751年、中央アジアの ( ) で ( ) を破った。  
→ ( ) が中国から伝わり、羊皮紙から徐々に置き換わっていった。



唐の玄宗



高仙芝

唐の将軍は、高句麗出身の高仙芝であった。最近の世界史は、「同じ時代に他の地域でどんなことがあったのか？」を抑える必要がある。いわゆる「横のつながり」です。だからこの戦いは大事！



◆ ( ) (在位 754~775年)

- ・ティグリス川流域に円城のバグダードを建設して都とした。

◆ ( ) (在位 786~809年)

- ・アッバース朝の最盛期のカリフで、イスラーム文化の黄金時代をもたらした。
- ・9世紀以降は、( ) と呼ばれるトルコ系奴隷軍人が使用され始めた。



ハールーン=アッラシード

アッバース朝の第5代カリフであり、『アラビアンナイト』に登場することでも世界的に有名なカリフ。大長編ドラえもんのある作品にも登場している。



現在のバグダード



ディズニーシー

ディズニーシーのアラビアンコーストは、ハールーン=アッラシード時代のバグダードがモデルとなっている。建物や風景は、ほんとうにそっくり。

